

第15回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

国際シンポジウム

アジアにおけるプライマリ・ケア領域 ナースプラクティショナー最前線



2024年6月9日（日）
08:15～09:45

アクトシティ浜松

ライブ配信/オンデマンドあり

GUEST SPEAKERS

Henna Choi

RN, PhD
Assistant Professor,
Department of Nursing
Nambu University

Heng-Hsin Tung

RN, FNP, DNP, PhD
Professor, College of Nursing,
National Yang Ming Chiao
Tung University
President, Taiwan Association
of Nurse Practitioner

Chieko Yao

RN, MSN 診療看護師
むさしの丘ファミリー
クリニック

開催趣旨

本邦で診療看護師（ナースプラクティショナー、NP）が誕生して10年が経ち、その役割機能が徐々に拡大しています。そして近隣のアジア諸国においてもNPの役割が発展し、資格認証が進んでいます。

シンポジウムでは、台湾・韓国・日本の高度実践看護の教育、実践範囲また活動に関する知見を共有し、プライマリケア看護の発展へと繋げることを目的としています。

司会

森山美知子

広島大学大学院医系科学研究科
成人看護開発学 教授

本田和也

国立病院機構 長崎医療センター
教育センター・脳神経外科
診療看護師 (NP)

参加登録



主催：日本プライマリ・ケア連合学会
看護部会 国際交流部門

後援：日本学術会議

<https://plaza.umin.ac.jp/jpca2024/>

登壇者の紹介



Henna Choi

看護師としての臨床経験を経て、ソウル国立大学でPhD、Nursing Informaticsを取得。看護情報学の専門家として、テクノロジーを用いたヘルスケアアクセスギャップを埋めることを目的に、臨床実践、研究、また革新的アプローチの開発など、多岐にわたる活動を通して、看護の発展に貢献している。



Heng-Hsin Tung

看護師として循環器ICUの経験を基に、米国でMSN、PhD、DNPの学位を取得。心臓血管・高齢者ケアを中心に数多くの研究論文を発表、また多くのハイレベルプロジェクトを率いている。現在はNYCUの健康長寿・加齢科学センターでシニアリサーチャーを務め、複数の学術団体や専門団体をリードする。またアジアパシフィックNP会議を設立し、2023年にはその大会が成功裏に開催された。



矢尾 知恵子

病棟勤務を経て訪問看護に従事。訪問看護ステーションの運営・管理を行うとともに、外来診療と在宅診療の事業運営および訪問看護師の人材育成に力を入れ教育プログラムを作成。2018年に診療看護師（NP）の資格取得し、2020年より在宅支援診療所で実践している。介護支援専門員、呼吸認定療法士、また訪問看護認定看護師など多彩な資格を持ち、また複数学会で活躍している。

アジアの高度実践看護を切り開く3名の登壇者の講演に続き、プライマリーケア看護の発展について皆様とのディスカッションを行います。この貴重な機会にぜひご参加ください！